北海道大学学芸員リカレント教育プログラム
特別レクチャー＋クロストーク＋公開成果報告会

動物園 水族館に学ぶ！ ミュージアムの 可能性

×

ミライ ミュージアム ミートアップ

北海道大学
学芸員リカレント教育プログラム
公開成果報告会 2019

2020 年 2 月 22 日（土）

北海道大学大学院工学研究院
フロンティア応用科学研究棟
（札幌市北区北１５条西８丁目）
鈴木章ホール

聴講無料
どなたでも
どうぞ！

10：00 ～ 12：30　北海道大学学芸員リカレント教育プログラム公開成果報告会
ミライ・ミュージアム・ミートアップ

13：30 ～ 14：20　レクチャー１「**動物園から世界を眺める**」
若生謙二氏（大阪芸術大学教授）

14：30 ～ 15：20　レクチャー２「**水族館の文化史～歴史をとおして考えるその過去と未来**」
溝井裕一氏（関西大学教授）

15：30 ～ 16：45　クロストーク **若生謙二氏 × 溝井裕一氏**
ゲストコメンテーター：平 輝 氏（北海道大学大学院工学研究院助教）
聞き手：門間 仁史 氏（北海道立旭川美術館主任学芸員）
亀丸 由紀子 氏（北海道博物館学芸員）

AQUARIUM × 学 學藝 リカプロ × ZOO

主催：北海道大学大学院文学研究院　／　共催：北海道大学大学院工学研究院
助成／ 2019 年度文化庁 大学における文化芸術推進事業「ミュージアム学芸員の企画展制作〈立案・運営・評価〉スキル養成深化プログラム」

動物園 水族館に学ぶ！ ミュージアムの可能性

動物園や水族館は、わたしたちにとって、最も身近なミュージアムのひとつだろう。生きた動物・水族を扱うという点では歴史博物館や美術館と異なるが、それでもそこには、多くの共通点がある。
本イベントでは、動物園デザインの研究・実践の第一人者である若生謙二氏と、文化史という視点から動物園・水族館を捉える気鋭の歴史研究者・溝井裕一氏をお招きし、広義のミュージアムの可能性を考える。さらにクロストークでは、水族館の展示分析を手掛ける平氏と、人文系ミュージアムの学芸員である門間氏、亀丸氏を加えて、議論を深めていく。異なるジャンルの専門家による議論からは、世界を切り取り、知を深めるための「窓」としてのミュージアム、そして、世界へと飛び込み、変化を生み出すための「扉」としてのミュージアムの姿がみえてくるにちがいない。

13：30 ～ 14：20
レクチャー１ **「動物園から世界を眺める」**
若生 謙二氏（大阪芸術大学教授、動物園デザイナー）

14：30 ～ 15：20
レクチャー２ **「水族館の文化史 ～歴史をとおして考えるその過去と未来」**
溝井 裕一氏（関西大学教授）

15：30 ～ 16：45
クロストーク **若生謙二氏 × 溝井裕一氏**
ゲストコメンテーター：平 輝 氏（北海道大学大学院工学研究院助教）
聞き手：門間 仁史 氏（北海道立旭川美術館主任学芸員）
亀丸 由紀子 氏（北海道博物館学芸員）

若生 謙二（わこうけんじ）

大阪芸術大学教授。動物園デザイナー。1954 年大阪生まれ。日本展示学会会長、ヒトと動物の関係学会会長。学位論文「日米における動物園の発展過程に関する研究」。著書：「動物園革命」他。天王寺動物園、よこはまズーラシア、茶臼山動物園、飯田市動物園、宇部市ときわ動物園等で生息環境展示にとりくむ。動物園から緑のまちづくりをめざし、大阪府立農芸高校正門前に「アルパカの丘」をつくり、京都、嵐山では鵜と鵜飼の展示が今春に完成する。日本造園学会賞、同特別賞受賞。

溝井 裕一（みぞいゆういち）

関西大学教授。2011 年に准教授として関西大学に着任。もとはドイツの民間伝承を専門としていたが、現在は動物園や水族館の歴史をつうじて、ひとが動物とどうかかわってきたかを研究している。またこれと並行して、ヨーロッパの怪物彫刻やナチス建築などについても著している。単著に『動物園の文化史―ひとと動物の 5000 年』（2014 年）、『水族館の文化史―ひと・動物・モノがおりなす魔術的世界』（2018 年）などがある。

ミライ ミュージアム ミートアップ

北海道大学学芸員リカレント教育プログラム
公開成果報告会 2019

「学芸リカプロ」は、ミュージアムに勤務する現役学芸員を中心に、文化・芸術に携わるひとを対象としたプログラム。文化庁「大学における文化芸術推進事業」に採択され、2018 年度からはじまりました。講義や実習、一般公開のシンポジウム等を通じて学びを深めることに加え、最終年度となる 2020 年度には北海道大学総合博物館での企画展を開催すること目指して活動しています。

お問い合わせ／
〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目 北海道大学大学院文学研究院内 学芸リカプロ事務局
e-mail : recurrent_hokudai@let.hokudai.ac.jp Tel : 011-706-4017
WEB : https://www.let.hokudai.ac.jp/general/recurrent-about

口頭発表（10：00 ～ 12：30）

- **「旧三井銀行小樽支店ファンクラブの活動紹介 ―『なるほど！カード』作成の事例を中心に」**山田菜穂（小樽芸術村学芸員）
- **「『ミュージアムグッズサミット』の企画検討」**大澤 夏美（ミュージアムグッズ愛好家）、佐藤いず帆（小樽芸術村学芸員）
- **「地域を軸にした連携事業報告－郷土館・図書館・ジオパークで作る地域学習プログラム－」**髙橋美鈴（様似郷土館学芸員）
- **「『大漁旗展―つたえる、いろどる』開催に向けて」**熊谷麻美（北海道立釧路芸術館学芸員）
- **「本郷新のパブロ・ピカソ受容ー《牧歌》、《鳥を抱く女》を中心に」**山田のぞみ（本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員）

ポスター発表（10：00 ～ 16：45、コアタイム 12：30 ～ 13：20）

- **「『農』をめぐるニーズを探る　～展示と評価の出発点として～」**蝦名未来（だて歴史文化ミュージアム）、土栄織恵（北海道大学学芸員リカレント教育プログラム聴講生）
- **「開拓期の北海道農業・酪農に貢献した人たち―エドウィン・ダンと町村金弥、中山久蔵を例に―」**田川衛（北海道大学学芸員リカレント教育プログラム聴講生）
- **「『札幌農学校』をテーマとする展示の可能性」**矢野ひろ（株式会社ノーザンクロス（NPO 法人北海道遺産協議会事務局））
- **「博物館での教育普及活動について－日本における構成主義の広がり」**横山仁美（北海道大学大学院文学院修士課程）
- **「今田敬一再考」**中島香矢（北海道美術史研究）
- **「アートドキュメンテーション研究と図録」**河村利穂（札幌市東区民センター）
- **「人とまちをつなぐ小さな図書館・博物館 ― 庭先でマイパブリックの実践」**塚田真理子（Little Free Library and Museum 小さな帆主宰）
- **「異分野からのまなざし－ 2019 年度開催の講座を例に」**金澤聡美（小樽芸術村学芸員）